

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題2	<p>医師確保計画について、従来から研修医を獲得しようとするのはこれまでずっとやっていると思う。より専門化した、例えば産婦人科、小児科とかあるいは、その他の科でもいろいろ少ない科があると思うが、そういう人たちをいかに増やすかに関しては、結局、専門医を増やすことしかなくなってくると思うが、増やすのは、岐阜県の中で専門医を教育するか、他都道府県から持ってくるか、しかないと思うが、その専門医の獲得に関して、県としてはどういうふうに考えているか。もちろん全体を増やすことも大事だが。</p> <p>いかにして専門医を増やしていくかに関して、政策としてはどういうことを考えているか。</p>	<p>ご指摘があった専攻医の確保は施策の柱の一つであり、当然県としても重要な取り組みの一つと考えている。ご指摘があった臨床研修医の確保と比べると、専攻医の部分については行政の関与が、極めて難しい部分だと考えている。</p> <p>専攻医を県に広く呼び込むということで、今年度から1つ新規事業を開始したいと考えており、まずはここに注力をし、その成果を十分に発揮できるように全力を尽くしたいと思っている。</p> <p>従来から、専攻医を県内に呼び込むためには優秀、有力な指導医の確保が重要であるという認識はあるが、一方で優秀な指導医は都市部の方に偏在しがちであり、かつ、県内に呼び込むというのはなかなか困難であるが、県としては優秀な指導医を確保する、あるいは育成をするというところを合わせて、できれば注力をしていきたいと思っている。これは積年の課題であり、状況が急激に改善するという見込みはないが、多方面から手を尽くして参りたいと考えている。</p>
2	議題2	<p>初期研修医はいろいろな選択があり、いろんなところで確保しようとしていると思うが、専攻医に関しては岐阜県はかなりプログラムが限られている。研修を終えて専攻医に進む3年目の先生にとって、やはりより選択の可能性が広い方が、岐阜県に定着して下さる可能性、つまり岐阜県の中で、専攻医なり専門医として活躍して下さる可能性が高くなると思う。是非とも研修医が専攻医を受ける時の専攻医のプログラムの多様性、より選択の幅が広がるようなことも県で考えていただけると良いのではないかと。</p>	
3	議題2	<p>小児科も産婦人科もどんどんニーズがなくなっていく。それに対していかに医師を集めるか、きれいごとだけではなく、そういうことをしっかり考えないと、他の科と同じような施策でやっていくということでは、解決しないのではないかと。</p>	<p>実は東京では、小児科医、特に婦人科医が著明だが、従事してみえる先生方の平均年齢が非常に高い。ということは、20年後同じ体制でできるはずがないということがすごく大きな危機感としてある。</p> <p>何がなんでもとっては叱られるが、そういう科を選んでくれる可能性を高くするプログラムをたくさん作り、強引と言ったらいけないと思うが、何とかして確保していかなければならないと思う。それは各病院の努力もあると思うが、やはり県がそういうことに対して、指針を示すとか、あるいは甘いにんじんをぶら下げるとか。何かあるとより進むのではないかと。</p>
4	議題2	<p>飛騨市医師会では、小児科、産婦人科でどの程度足りないという、そういう危機感を持っているか。</p>	<p>飛騨市においては、小児科医としては、2人の先生が見えるだけです。</p> <p>その他は小児科内科という形で、小児の診察もしていただいているというところでは、産科に関しては、飛騨市はゼロ。出産を扱ってみえるところはないので、高山市の方へ依存をしているという状態です。医師は、本当にもう少なくて、これ以上どうしよう、という感じのところでは、（飛騨市医師会）</p>

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
5	議題2	上宝村だったり、少し離れているところはどうか。	旧上宝村は、医療圏としては神岡地区の方が近い。神岡地区には小児科医が1人いる。産科医はゼロ。交通の便を良くしていただくなど、そういったことが必要になるのではないかと思う。(飛騨市医師会)
6	議題2	雪が降ったりすると全くあの辺は孤立する可能性がある。 昔は本当に誰も通れなくなってしまうようなことがあった。余裕を持って人を抱えていないといけないと思う。その余裕はどうやってやったらできるかということ、考えないといけないと思っている。	
7	議題2	保健医療計画について、医師確保計画の話はあったが、医師以外の職種に対するいろんな懸念事項が各圏域であるというふうに向っている。飛騨圏域も特に、看護師とかそういった職種の確保が大変だと思っているが、そういった看護師、助産師の確保に対する県としての考え方というものを、盛り込んでいった方が良いのではないかと思うが、どうか。	医師確保計画はドクターに限った計画であるが、保健医療計画の方には医療人材の確保の項目もあり、看護師、助産師、保健師等のことも視野に入れて施策を進めている。看護師等も現在充足状態にあるとは思ってなく、今でも看護師確保の取り組みはしているが、今後とも引き続き注力しなければならない分野だと考えている。
8	議題2	飛騨市はずっと分娩のできない市ということで来ており、特に神岡地区については高山市に依存するか、富山市の方へ依存するかといったところでないと、出産もできないという状況です。 小児、産科といった医療も大事なんですけども、高齢者が半分を占めている。この地域、高齢化率45%を超えており、人口の構成から考えるとそういった高齢者医療を賄うには、総合診療医の役目が非常に大事になってきており、やはり岐阜の方の先生方は臓器別専門医という視野で皆さん考えておられるが、それは飛騨地域には当てはまらない。 臓器別にはいくら医者がいても足りない。高齢者から小児まで含めて総合的に見れる医師、総合診療医の育成もぜひ、県の方も力を入れて、へき地の医療に貢献できる医師の人材育成をやっていただきたい。	
9	議題2	医師確保の問題だが、飛騨圏域では、開業医も含めて高齢化している。 未来というか、5年後10年後を考えていくと、どんどん不足していくということが考えられるので、この確保の数値の中で、その医師の年齢、あと何年でできそうかということ、を考慮した上で考えていく必要があると思うので、ご考慮願います。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
10	議題2	今現在、富山の方にかなり健診等に関し、依存している面が認められている。 今後、飛騨の方で困ってきた場合は、地域医療構想に関しても、富山の方とも一緒にやっていかなければならない時代が来るのかと思って聞いていた。 医療人材の確保につきましては、是非とも県庁の方をお願いしたいことと思うので、よろしく願います。	いろいろな各分野、確かに飛騨市では、富山県との繋がりの方が深いのではないかと、というご指摘もある。 なかなか保健医療計画そのもので富山県と、というのは難しいが、例えば富山県であればドクターヘリの共同運航そういった形でいろいろな分野ごとに協力をいただいている。 そういった個別の分野等含めて、県民の安全安心につなげていけるような施策を考えていきたいと思う。
11	議題5	かねてより聞いているが、高山赤十字病院の建て替えについては、少なくとも令和7年までは凍結という理解でよいか。	建て替えについては、新しく新病院建設の協議会を設置しており、その中で協議を進めている。現在その基礎となるものを作っているところなので、それまでに建て替えということは、まずないような状況です。（高山赤十字病院）
12	議題5	下呂温泉病院では、地域包括病床が約100床あり、コロナが蔓延していたときは、半分ぐらいをコロナ病棟として使っていた。4月からコロナが5類になり、入院、それから空床補償も減った。去年、地域包括病棟の縛りがきつくなり、この地域の診療人口も減ってきており、地域包括病棟は利用しにくくなった。 長期療養の患者、施設に待機で入れなく医療依存度が高いような患者が、長期に入院できるような病床がないということで、今後、38床を療養病床としていく。どっちにしろ病棟は空いていたところなので、経営的にも空床にしていくよりはそういった患者が将来的に増えてくるであろうということで、療養病床としていく予定でいる。	
13	議題5	金山病院は、下呂市全体、あるいは白川町からも療養患者を受け入れていたが、スタッフ不足もあり、2病棟を維持するのがなかなか厳しくなってきたような状況。療養病床をどうかできるかなということを考えている。 療養病床の方を下呂温泉病院に行っていたら、そちらの空床が埋まるのではないかと。そんな単純なことを考えている。	
14	議題5	当初作られた2025年に向けての飛騨地域の急性期病床の必要病床数が380床で、これは地域医療構想が策定されたときからこの数字だが、この急性期病床の現実とこの乖離が激しくて、あと2年後に迫っている2025年までに、300床を減らさないと到達できないと。この件について県はどんなふうに考えているのか。	必要病床数については、全国一律の算式で算出したもので、あくまで県としては参考値としてお示しをしている。 また、毎年1月の調整会議には純の急性期、地域急性期、そういった実際の数値の資料等も含めて、お示しさせていただいている。 一言で申し上げると、この380に必ず持っていかなければいけないという認識ではないので、現実的に691という数字をどのように受けとめていただいているか、地域の方でどういうふうに受けとめていただいているのかということで、ご議論が進めばいいのではないかと考えている。

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
15	議題5	<p>やはりこのコロナで、急性期の感染症患者を受け入れるところは以前想定されてなかったところで、本当に380でいいのかということは、実はその当初の議論にあり、感染症とか災害が起きたときにどうするのか、ということ saying していた。</p> <p>それが現実になった、というのを飛騨地域の現状だと私は理解しており、国の一律の計算式が必ずしも当てはまらないだろうと、現実はこのことだと感じている。</p>	
16	その他	<p>コロナ時がそうだったが、保健所のコーディネートでなんとか乗り切れた。また、今後、ロボット手術など医療機器、抗がん剤など薬剤が高額になっていくことが見込まれる。</p> <p>調整会議も有意義だが、もっと具体的な項目、実務において、協議、協調ができるということで、飛騨圏域の病院だけで地域医療連携推進法人を計画できないか。</p> <p>令和7年度に間に合うかどうか分からないが、次回の会議で検討していただいたらどうかと思う。飛騨の場合は、行政にも少し温度差があり、上手くまとまらないこともある。コロナの場合は、県と保健所でまとめていただき、乗り切ってきた経緯があるので、提案させていただく。</p>	<p>連携推進法人はあくまでも入れ物、箱であるので、その中身をどうするかという議論が重要ではないかと思っている。</p> <p>ご希望いただきましたので、次回の会議の時の議題の一つとして上げるということも含めて、事務局の方とご意見いただいた病院様ともやりとりをしながら、次回の会議に向けて進めたいと思う。</p>
17	その他	<p>全く同じ考え。飛騨地域は医療連携推進法人にするべきだと思う。ぜひ県がそれを後押ししていただきたい。今後の飛騨地域の医療をしっかり守るための大きなきっかけになるのではないかと感じている。</p>	
18	アドバイザー	<p>飛騨圏域は、こういった会議をする上では難しい問題を抱えている地域だと思っている。</p> <p>本日は、都市部とは違い、例えば総合診療医とかを拡充していく必要があるのではないかと、先生方の高齢化が進んでいるので、医師の数だけでは、十分この先を見通せないのではないかと、というお話があったかと思う。</p> <p>今までは病院の機能分化という話がメインで進んできたが、病院の機能分化だけでなく、今後は医師の機能分化なのか、機能の変更なのか、みたいなのも含めて考えていかないといけないし、また、そういった専門医を獲得するために、専攻医をどうやって集めてくるのかという話や、給与を工夫できないかという話、また足りないのは医師だけではないのではないかと、いろいろなご意見をいただいたかと思う。</p> <p>いよいよ詳細について詰めていこうと思うと、難しい課題がたくさんあるということが明らかになっている状況かと思うし、国の方としても、概略というか概要は作ったが、実際地域でどうやってやっていったらいいのかは、正直な話、国の方としても十分まだわかっていないような状況で、地域の先生方のお知恵を借りて、何とか地域医療を守りたいというふうには思っている状況だと思ふ。</p> <p>なかなか予算も人材も十分でない状況で、どうそれを配分し、どう活用して地域医療を守っていくのかというのは難しい課題だと思うが、今日出たような先生方のお知恵、さらに、もっともっと知恵を出し合いながら、地域医療を守れるように、みんなで考えていければと思っている。</p> <p>ぜひ、今後もこのように活発なご議論をいただいてきた地域の医療を守れるように、先生方のお知恵をお借りできればと思っている。</p>	
19	アドバイザー	<p>飛騨圏域というのは、今の限られた医療資源を上手に使っていかねばいけない医療圏になっていくと思う。都市部と同じような考え方というのは少し難しいと思うので、この今ある医療資源を大切に、今日統廃合の話もあったが、そういうところも踏まえて、今あるものをうまくバランスよく使っていきのよいかと考えて聞いていた。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
20	アドバイザー	いつも今までの医療体制のままでどうしていくか、という話をしているが、へき地で医師もいないというところでは、医師が多い地域の病院と連携したオンラインでの診察を、地域で専門の看護師を育てて、患者さんとのやり取りを仲介するといった新しい医療体制を作ることが大事だと思う。	